

第4回地元資源利活用検討会 議事録

平成27年11月13日（金）18時30分～

登別市民会館 1階 大会議室

◆出席委員：協議会委員

松山 哲男	会長
斎藤 正史	副会長
川田 弘教	委員
望月 一延	委員
近井 一夫	委員
小幡 功	委員
千葉 洋子	委員
米田 登美子	委員
井上 昭人	委員

検討会メンバー

寺島 真一郎
辻 勲
佐野 亮二
米澤 厚
合田 富重
岩崎 隆二
計15名

◆事務局：商工労政グループ宍戸商工労政・新エネルギー主幹

奥田主査

竹中担当員

- ◆議題：（1）今後のスケジュールの確認について
（2）専門部会のテーマについて
（3）活用できる地元資源の確認について

【要旨】

項目	発言者	内容
<p>(1) 今後のスケジュールの確認について</p>	事務局	<p>ご多忙のところお集まり頂き、ありがとうございます。第4回地元資源利活用検討会を開催いたします。</p>
	会長	<p>今日の会議の目的は、 ①中小企業地域経済振興協議会のコンセプトを明確にするため、今後の進め方等の確認を行う。 ②専門部会の取り組み事例に係る意見の把握を行い、各専門部会が取り組む検討テーマを協議する。 ③活用できる地元資源の説明を行う。 この3点である。</p>
	事務局	<p>1点目、今後のスケジュールの確認の方について、事務局から説明を行う。 まず、専門部会のテーマ設定について、直近の協議会・検討会では、問題・課題についての再検討を行うとともに、将来の姿について、将来から現在という観点から意見を抽出してきた。今後は、将来の姿を実現する為の具体策を考えていく為に、専門部会を設置し、具体的に協議を行っていく。専門部会のテーマは、皆様から抽出させていただいた意見を基に、皆様の意見を伺った上で決定していく。後程、設定するテーマについて詳しくご説明する。 続いて、専門部会で具体的な協議をしていく準備として、地元資源のイメージを共有するという事を目的に、地元資源の確認を行う。 専門部会の開催について話を移すと、本日この後行うテーマ設定の確認に対し異議がなければ、そのテーマを基に、第1回専門部会の中で、具体的に成果に結びつく協議の進行方法を、専門家として株式会社アムリプラザの岡山先生をお招きして講演していただきたいと思っている。 第2回専門部会からは、部会ごとに開催日を決定し、具体策を検討していく。専門部会の構成員は、希望する部会を伺った上で決定する。</p>

(2) 専門部会のテーマについて

会長

各専門部会が報告すべき成果の期限としては、来年の1月頃を目途に協議内容をまとめ、地元資源利活用検討会に報告するという流れになっているため、第1回専門部会を含めて約4回程度の中で、具体策にまで結びつけていただく必要がある。可能な限りのご参加をお願いしたい。

これから専門部会による具体的な取り組みを練り上げていただいた後、最終的な提言に向けた協議に入っていきたい。

なお、北海学園大学の大貝准教授に対して依頼している地域経済に関する報告書については、現在市内事業者に対してヒアリングを行っているところであり、2月までには報告をいただくようお願いしている所である。専門部会についても、その頃を目途に報告していただく。

次に2点目として、専門部会のテーマについての説明を行う。専門部会のテーマは、これまでの皆様のご意見を聞いた中で

- ①地域に住む人々が健康で元気に活躍する
- ②市内企業が健全な経営環境を活発な事業活動
- ③地域全体が一体となって中小企業・地域経済の振興

の3点に繋がっていくという趣旨でまとめた。このような中で、スローガンとして「笑顔あふれる街づくりは健康で元気のある豊かな地域経済から」、サブテーマとして「わがまちの宝ものに目を向けて」を設定した。わがまちの中小企業・地域経済の振興は市民が健康で元気に暮らすことと深い関わりがある。市内企業が健全な経営環境のもとで、発展していく為には、わが街の人・企業・地域のそれぞれが健康で元気であることが必要・かつ重要と認識し、街の宝ものと言える地元資源や市内各地域の魅力を利活用し共通の目標に向かって一体化した取り組みによって豊かな地域経済と豊かなわがまちにすることをコンセプトとして考えた。

また、専門部会は、「健康・元気・豊かな人」、「健康・元気・豊かな企業」、「健康・元気・豊かな地域」という3つのカテゴリーに分類した中で、各専門部会の中で具体的な協議をして頂きたいと思っている。このことについて、意見はないだろうか。

小幡委員

よくできていると思う。ただその3つが三位一体となるような形がベストだと思うので、その過程で繋がるというのは、例えば「企業が良くないと人件費払えない。それでは人は豊かにならない。人が豊かでなければ良い地域にはならない。」このような三位一体の関係であるため、その繋がりの中で専門部会が進んでいけばよい。

吉元委員

カテゴリーのイメージは更に具体的にしていなくて良いのだろうか。人・企業・地域という分け方をもう少し絞り込んでも感じた。

地元の地域振興というのを考えた時に、子育て政策として、例えば医療費や保育料を無料にしたらい、または地域外から人を呼び込んでくる、移住を促していくなど、大胆な提案も面白いと思うが、それがどのカテゴリーに仮に入るだろうと思った時に、このキーワードで繋がっていくのだろうか。専門部会として分ける以上、より具体性を持った取組を頭出ししてみても良いのではないか。インパクトのある目玉事業のようなものが構築されることが理想だと考える。

事務局

確かに、このままのカテゴリーだけでは漠然としたものにはなっているが、専門部会のイメージとしては、人・企業・地域というそれぞれのカテゴリーを起点としながら、検討テーマをそれぞれが設定し、そのテーマに関連する具体的な取組を構築して頂きたい。人・企業・地域の各カテゴリーが抽象的な表現にとどめているのには、事務局側が取りかかりの段階でテーマを絞り込み過ぎ、限定的な議論になってしまうことを避けたいという思いがあるからであり、最終的には、各部

		<p>会が目玉事業のようなものを提案することが望ましい。</p>
	吉元委員	<p>各カテゴリーを起点にしながら、目標に向かってそれぞれの具体的な施策を考えていくことが出来るのであれば良いと思う。</p>
	副会長	<p>“活性化“は、人・企業・地域、ひいては経済に繋がるものであり、今、人口が減っていく中で限られた財政を有効に活用していくには、人・企業・地域を起点としながら、将来に向けた大きなビジョンを描いた上で、現実に戻ったときに何かの的を絞って集中的に考えていく必要がある。</p> <p>今こうだから、これをしていかないと危機になるという認識を持ちながら、具体的なものをイメージできることもあるだろう。それをイメージしながら、始めに取りかかる取り組みを考えていく必要があると考える。</p>
	会長	<p>この協議会においては、せっかく皆さん方のご意見もいただいている中、机上で終わらせてしまうことはあってはならない。提言においては、各専門部会で具体的な方向を示すことを目標にやっていきたいと思っている。</p> <p>中小企業・地域経済の振興はまちづくりにも繋がる。そこに住む人たちも豊かになる。この協議会は、中小企業・地域経済の活性化は、市民の幸せに繋がるという捉え方で考えていくべきだ。</p>
	吉元委員	<p>各専門部会が目指すべき数値目標を設定してもらうのはいかがだろうか。例えば、雇用率や労働者人口の増加や、事業者数の維持などを部会ごとに設定して頂くのはどうだろうか。</p>
<p>(3) 活用できる地元資源の確認について</p>	会長	<p>すごく大事なことだと思う。報告書にまとめるという期限との状況を加味しながら、指標の作成も盛り込みたい。</p> <p>検討テーマの概要が共有できたところで、3点目に話を移す。テーマに従って具体的な事業内容を検討するために</p>
	事務局	<p>協議会が平成27年6月に市民を対象に実施し</p>

た地元資源に関するアンケート調査の調査結果を一覧化したものを配布している。

アンケートの中で回答して頂いた資源を、「自然・文化・風景」、「食材」、「技術」「その他」の4点に振り分けた。アンケートに記載された資源のほか、皆様が日頃から感じる資源を含めて、経済の目線から活用する方法を考えていただきたいと思っている。

会 長

専門部会では、地元資源の活用を踏まえながら、具体的事業について検討して頂きたい。

今回は、専門家を呼び、各部会が掲げる検討テーマを一つ選択していただく時間を設けたい。また、各部会が行う議論の参考として、どのような時間の使い方をすれば、上手く会議の目的に辿り着けるのだろうかという点を講演していただく。

皆様が共通の意識を持ちながらゴールに向かっていただくということを大事にしたいと思っているため、そこに時間を割くべきだという判断である。

今日はこれで終わりたいと思う。お疲れ様でした